

文化スポーツ部

文化振興課

課長 石川 善啓

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	文化振興課	課CD	18100000
-----	---------	----	-------	-----	----------

事務事業名	文化振興推進事業
-------	----------

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	文化振興推進費

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		OOMFや信州まつもと大歌舞伎など、文化・芸術の振興
	5つの重点目標	
	松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞

事業計画年度

～

松本市の文化芸術の振興及びそのために必要な機能向上を図るための事業等を実施するもの。
市民との協働による文化の醸成を図り、市民の文化芸術活動への参画・協力の機会を増やすための事業に協力するもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 文化芸術振興審議会
文化芸術振興基本方針の振興管理と評価検証を行うため、審議会を設置、開催したもの。2回/年開催。
- 各種競技会、発表会等出場者祝金交付
各種競技会、発表会等に出場する市民に対し、祝金を交付したもの。祝金10件交付。
- (一財)松本市芸術文化振興財団事務局事務
松本市芸術文化振興財団の運営に係る業務の一部を委託するもの。
- 市制施行110周年「NHKのど自慢」
市とNHK長野放送局が共催。出場者20組25人。観覧者1,245人。
- 楽都・まつもとライブ
市制施行110周年「音楽と工芸のあふれるまちづくり事業」の一環。地元で縁のある音楽団体等によるストリートライブ。25回/年開催。延観客数 10,503人。
- 補助金交付
市内で活動する演劇団体や華道団体及び才能教育研究会に対し補助したもの。3件/年交付。

＜現状に対する認識＞

松本市文化芸術振興基本方針に掲げる対象事業について、PDCAサイクルによる進行管理と各事業の評価検証を実施する。
歌舞伎や大道芸などの市民協働事業や、補助金・祝金の交付、また、楽都・まつもとライブの実施やアーティストバンクの拡充等による文化芸術活動・発表の場の創出により、文化芸術活動の推進を図る。

＜指標の達成状況＞

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	音楽や芸術に触れていると思う市民の割合				
指標の設定理由	市民に対する文化振興施策の推進状況を図るため(※H29実績値は、調査対象が20～30才代のみ)				
目標値	52.0%	53.0%	54.0%	55.0%	56.0%
実績値	50.3%	48.2%			
達成度	96.7%	90.9%			
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	36,893		26,794							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	36,893		26,794							
② 人件費(千円)	26,915	人工	30,220	人工		人工		人工		人工
正規	26,915	3.5	27,324	3.6						
嘱託	0	0	2,896	1.0						
合計コスト①+②	63,808		57,014							
前年度比	—		89.4%							

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	文化振興課	課CD	18100000
-----	---------	----	-------	-----	----------

事務事業名	鈴木鎮一記念館管理事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	鈴木鎮一記念館管理費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		OOMFや信州まつもと大歌舞伎など、文化・芸術の振興
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

<事業の狙い>

事業計画年度

～

才能教育運動の創始者である、鈴木鎮一氏の住居の保及び関連資料を展示公開し、広く市民等に周知することで、文化芸術意識の広報を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 管理運営
施設の適正な管理運営と、市民に多様な文化芸術を提供するため、指定管理者である公益社団法人才能教育研究会に業務を委託するもの。

(1) 指定管理者の主な業務

- ①施設の開錠と施錠
- ②施設及び敷地内の清掃
- ③日常的な維持管理
- ④設備等の維持管理
- ⑤施設案内に関する業務
- ⑥職員体制1名

(2) 実績 平成29年度来館者数5,743人(対前年度比49人減)

(3) その他 自主事業として、年4回コンサートを実施(参加者277人)

<現状に対する認識>

・平成26年度実施の耐震診断の結果、基準値を下回っているため、平成30年度に耐震補強工事を実施予定(平成30年度当初予算計上済み)

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	音楽や芸術に触れていると思う市民の割合(市民満足度調査6-3-1)				
指標の設定理由	音楽や芸術活動への意識を高める(※H29実績値は、調査対象が20~30才代のみ)				
目標値	52.0%	53.0%	54.0%	55.0%	56.0%
実績値	50.3%	48.2%			
達成度	96.7%	90.9%			
② 成果指標(指標名)	来館者数				
指標の設定理由	鈴木鎮一記念館の有効的な活用				
目標値	5,700	5,750	5,800	5,850	5,900
実績値	5,792	5,743			
達成度	101.6%	99.9%			

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	2,910		3,060				
国・県							
利用者負担金							
その他							
一般財源	2,910		3,060				
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工		人工	
正規	769	0.1	759	0.1			
嘱託	0	0	0	0			
合計コスト①+②	3,679		3,819				
前年度比	—		103.8%				

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	文化振興課	課CD	18100000
-----	---------	----	-------	-----	----------

事務事業名	波田文化センター管理運営事業
-------	----------------

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	文化振興推進費

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		OOMFや信州まつもと大歌舞伎など、文化・芸術の振興
	5つの重点目標	
	松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞

事業計画年度

～

文化芸術活動への参画・協力意向を持つ多数の市民の要望に応えるため、波田文化センターの維持及び管理運営を行うもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 管理運営	施設の適正な管理運営と、市民に多様な文化芸術を提供するため、指定管理者である(一財)松本市芸術文化振興財団に業務を委託するもの。
2 施設改修事業	施設の安全性・利便性を確保するため、施設設備等の経年劣化及び老朽化に対し、計画的に修繕を行うもの。

＜現状に対する認識＞

・市民との協働による文化芸術イベントを実施するなど、西部地域の文化芸術拠点としての役割を果たしている。
 ・現状では、規模の小さなホールという特徴を活かした運営が行われている。
 ・施設の老朽化が進んでいることから、計画的な改修が必要である。
 ・利用状況等を考慮し、施設の位置づけ及び今後のあり方についての検討を進める必要がある。

＜指標の達成状況＞

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	音楽や芸術に触れていると思う市民の割合				
指標の設定理由	市民の割合から、文化振興施策の推進状況を図るため(※H29実績値は、調査対象が20～30才代のみ)				
目標値	52.0%	53.0%	54.0%	55.0%	56.0%
実績値	50.3%	48.2%			
達成度	96.7%	90.9%			
② 成果指標(指標名)	波田文化センター来館者及び事業参加者数				
指標の設定理由	来館者及び事業参加者数から、施設の利用状況・充実度を図るため				
目標値	16,300	16,600	16,900	17,200	17,600
実績値	16,560	18,351			
達成度	101.6%	110.5%			

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	35,898		37,975							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	35,898		37,975							
② 人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工		人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3						
嘱託	0	0	0	0						
合計コスト①+②	38,205		40,252							
前年度比	—		105.4%							

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	文化振興課	課CD	18100000
-----	---------	----	-------	-----	----------

事務事業名	松本城世界遺産推進事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	松本城世界遺産推進事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		○松本城を世界遺産へ運動の推進
	5つの重点目標	
	松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

13~32

国宝松本城を保護・保存し、次世代へ継承するために、松本城の世界文化遺産登録を目指す過程で、登録の前提となる国内の「世界文化遺産暫定一覧表」記載に必要な調査研究及び市民への普及啓発を実施するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 松本城世界遺産調査研究事業
 - 文化庁の審議結果に対する課題を解決するための調査研究事業
 - 姫路城を含む国宝5城等による「近世城郭の天守群」の、シリアル・ノミネーション(連続する資産)での登録へ向けた関係市等との連携推進
- 松本城世界遺産普及啓発事業
 - 「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会における、市民と行政等の協働による普及啓発事業を実施し、世界遺産へ向けた現状や取組み等について、市民へ広く周知

<現状に対する認識>

・平成18年及び19年の文化庁による世界文化遺産暫定一覧表記載資産候補の公募から10年が経過するなかで、今後数年以内の再公募を見据えて準備を進める。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	世界遺産推進事業に参加した人数の割合				
指標の設定理由	世界遺産登録への事業に参加した人数で市民への広がり把握するため				
目標値	2.0%	5.0%	15.0%	30.0%	50.0%
実績値	1.3%	9.5%			
達成度	63.5%	189.8%			
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	10,870		13,280							
国・県										
利用者負担金										
その他	10,870		13,280							
一般財源										
② 人件費(千円)	9,997	人工	15,180	人工		人工		人工		人工
正規	9,997	1.3	15,180	2.0						
嘱託	0	0	0	0						
合計コスト①+②	20,867		28,460							
前年度比	—		136.4%							

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	文化振興課	課CD	18100000
-----	---------	----	-------	-----	----------

事務事業名	まつもと市民芸術館管理運営事業
-------	-----------------

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	まつもと市民芸術館管理運営費

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		OOMFや信州まつもと大歌舞伎など、文化・芸術の振興
	5つの重点目標	
	松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞

事業計画年度

～

文化芸術活動への参画・協力への取り組み意向を持つ市民は多いことから、その受け皿となるよう、ニーズに則した世界的にも高い水準の芸術文化を創造・鑑賞する機会の増加と、市民による芸術文化創造と、その支援及び発表の推進を図る。また、本市の代表的な文化芸術施設としての機能強化と施設整備などの環境整備を進める。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- まつもと市民芸術館管理運営事業
施設の適正な管理運営と、市民に多様な文化芸術を提供するため、指定管理者である(一財)松本市芸術文化振興財団へ業務を委託するもの
- まつもと市民芸術館施設整備事業
舞台・施設設備の経年劣化及び老朽化に対応し、計画的に修繕を行うもの

＜現状に対する認識＞

・松本からの創造・発信型事業を展開するとともに、県内外から優れた舞台芸術作品を招聘し、多くの市民に鑑賞の機会を提供している。
・開館15年目となるH30年度から3カ年をかけて、舞台設備を中心にした大規模改修工事を実施する。

＜指標の達成状況＞

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	音楽や芸術に触れていると思う市民の割合				
指標の設定理由	音楽や芸術活動への意識を高める(※H29実績値は、調査対象が20～30才代のみ)				
目標値	56.0%	56.0%	56.0%	56.0%	56.0%
実績値	50.3%	48.2%			
達成度	89.8%	86.1%			
② 成果指標(指標名)	まつもと市民芸術館来館者及び事業参加者数(人)				
指標の設定理由	まつもと市民芸術館の有効な活用				
目標値	212,000	214,000	216,000	218,000	220,000
実績値	251,109	267,076			
達成度	118.4%	124.8%			

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	481,806		520,030							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	481,806		520,030							
② 人件費(千円)	3,845	人工	7,590	人工		人工		人工		人工
正規	3,845	0.5	7,590	1.0						
嘱託	0	0	0	0.0						
合計コスト①+②	485,651		527,620							
前年度比	—		108.6%							

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	文化振興課	課CD	18100000
-----	---------	----	-------	-----	----------

事務事業名	まつもと市民芸術館事業
-------	-------------

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	まつもと市民芸術館事業費

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	〇OMFや信州まつもと大歌舞伎など、文化・芸術の振興	
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

＜事業の狙い＞

事業計画年度

～

「まつもと市民芸術館管理運営方針」に基づき、高水準の芸術文化を創造し、鑑賞する場、市民自らが芸術文化活動を行う場、また、市民交流の場を提供し、更なる市民の文化レベルの向上と、まちの活性化に寄与する。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- まつもと市民芸術館事業費補助金交付
指定管理者である(一財)松本市芸術文化振興財団が行う自主事業公演に対し、市補助金を交付するもの。
・(一財)松本市芸術文化振興財団事業費補助金 100,000千円
- 国、県及び民間補助金の活用
国、県及び民間の補助事業を積極的に取込み、指定管理者による自主事業の財源確保に努めるもの。
(29年度実績)
・文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業補助金 13,420千円

＜現状に対する認識＞

・指定管理者である(一財)松本市芸術文化振興財団が、芸術監督をはじめとする専門職員を配置し、多様な文化芸術の提供を実施している。
・松本からの創造・発信型事業を展開するとともに、県内外から優れた舞台芸術作品を招聘し、多くの市民に鑑賞の機会を提供している。

＜指標の達成状況＞

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	まつもと市民芸術館来館者及び事業参加者数				
指標の設定理由	まつもと市民芸術館の有効な活用				
目標値	212,000	214,000	216,000	218,000	220,000
実績値	251,109	267,076			
達成度	118.4%	124.8%			
② 成果指標(指標名)	自主事業件数				
指標の設定理由	まつもと市民芸術館の有効な活用				
目標値	35	35	35	35	35
実績値	44	39			
達成度	125.7%	111.4%			

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	118,500		113,420				
国・県	13,500		13,420				
利用者負担金							
その他	5,000						
一般財源	100,000		100,000				
② 人件費(千円)	3,845	人工	7,590	人工		人工	
正規	3,845	0.5	7,590	1.0			
嘱託	0	0	0	0			
合計コスト①+②	122,345		121,010				
前年度比	—		98.9%				

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	文化振興課	課CD	18100000
-----	---------	----	-------	-----	----------

事務事業名	音楽文化ホール管理運営事業
-------	---------------

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	音楽文化ホール管理運営費

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		OOMFや信州まつもと大歌舞伎など、文化・芸術の振興
	5つの重点目標	
	松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞

事業計画年度

～

クラシックを主とした音楽文化の振興と福祉の増進を図るため、音楽文化ホールの適正な管理運営を図るもの。
また、施設の維持管理に係り、中長期的な視点から施設・設備の延命を図り、利用者の安全性及び利便性の確保を図るための事業を実施するもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 音楽文化ホール運営委員会
ホールの適正な運営を図るため、運営委員会を設置・開催するもの。
- 管理運営
施設の適正な管理運営と、市民に多様な文化芸術を提供するため、指定管理者である(一財)松本市芸術文化振興財団に業務を委託するもの。
- 施設改修
安全性・利便性確保のため、施設設備等の経年劣化及び老朽化に対し、計画的に修繕を行うもの。

＜現状に対する認識＞

国内外の優れた音楽家を招聘し世界最高水準の演奏を提供したり、県内唯一のコンサート用オルガン等を活用した演奏会や講習会の実施、また、音楽愛好団体等への活動支援や育成援助を実施し、市の音楽文化の向上に努めた。
中長期的な視点から着手した第2期の施設・設備改修事業の6年目を実施した。

＜指標の達成状況＞

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	音楽や芸術に触れていると思う市民の割合				
指標の設定理由	音楽や芸術活動への意識を高める(※H29実績値は、調査対象が20～30才代のみ)				
目標値	52.0%	53.0%	54.0%	55.0%	56.0%
実績値	50.3%	48.2%			
達成度	96.7%	90.9%			
② 成果指標(指標名)	音楽文化ホール来館者数及び事業参加者数				
指標の設定理由	音楽文化ホールの有効な活用				
目標値	90,000人	91,250人	92,500人	93,750人	95,000人
実績値	74,993人	62,719人			
達成度	83.3%	68.7%			

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	92,594		358,639							
国・県										
利用者負担金										
その他			256,000							
一般財源	92,594		102,639							
② 人件費(千円)	15,380	人工	10,486	人工		人工		人工		人工
正規	15,380	2	7,590	1						
嘱託	0	0	2,896	1						
合計コスト①+②	107,974		369,125							
前年度比	—		341.9%							

国際音楽祭推進課

課長 藤森 誠

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	国際音楽祭推進課	課CD	18200000
-----	---------	----	----------	-----	----------

事務事業名	国際音楽祭推進事業
-------	-----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	国際音楽祭推進事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		〇OMFや信州まつもと大歌舞伎など、文化・芸術の振興
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

<事業の狙い>

事業計画年度

～

セイジ・オザワ 松本フェスティバルの共催並びに市独自事業を開催することにより、「楽都・松本」を国内のみならず世界へ発信し、ザルツブルグやタンゲルウッドに並ぶ世界的な音楽祭へ発展させる。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 国際音楽祭推進事業
フェスティバルを支援し、円滑な推進を図るため、市独自関連事業の運営等を委託
- 共催負担金
フェスティバルへの共催負担金を支出

<現状に対する認識>

- 小澤芸術を求めるクラシックファンは世界各地に存在し、毎年注目を集めている。
- リピート率は高く、固定的なファンを多く有する。
- 小澤総監督の後継者とオーケストラのクオリティの維持が課題である。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	音楽や芸術に触れていると思う市民の割合				
指標の設定理由	市民満足度調査の調査項目(※H29実績値は、調査対象が20～30才代のみ)				
目標値	52.0%	53.0%	54.0%	55.0%	56.0%
実績値	50.3%	48.2%			
達成度	96.7%	90.9%			
② 成果指標(指標名)	OMFを鑑賞して、自分も音楽などの文化・芸術活動をやってみたくと思った人の割合				
指標の設定理由	松本市総合計画(第10次基本計画)の進捗管理指標				
目標値	62.0%	63.0%	64.0%	65.0%	66.0%
実績値	71.0%	77.0%			
達成度	114.5%	122.2%			

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	250,570		240,300							
国・県	65,000		57,600							
利用者負担金										
その他										
一般財源	185,570		182,700							
② 人件費(千円)	25,920	人工	25,660	人工		人工		人工		人工
正規	23,070	3	22,770	3						
嘱託	2,850	1	2,890	1						
合計コスト①+②	276,490		265,960							
前年度比	—		96.2%							

スポーツ推進課

課長 堀 洋一

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

事務事業名	スポーツ振興事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	スポーツ振興事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
	5つの重点目標	1	健康とくすなづくり
	松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28 ~

スポーツの振興を通じて、市民の健康増進、交流を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

市民がスポーツに参加する機会やスポーツを通じた交流の機会の創出、市民スポーツ活動への支援を目的として以下の事業を実施

- 市主催のスポーツ教室、イベント等の開催
 - 市内35地区対抗の市民体育大会秋季大会、春夏秋冬の競技別の市民体育大会、
 - 市長杯争奪球技大会(いずれも松本体育協会に委託)を開催し延べ15,150人が参加した
 - ファミリースポーツカーニバル(松本市スポーツ推進委員協議会に委託)を開催し、「体力測定」「ニュースポーツ体験」などを通じて、市民がスポーツに触れる機会とした(参加者568人)
 - 親子健康教室、シニア健康教室を延べ60回開催し、2,577人が参加した
 - 市民歩こう運動の一環として、「気分爽快ウォーク」を年2回計画し、6月開催には86人が参加した。なお11月は雨天のため中止となったが申込者は31人だった。
- スポーツを通じた姉妹・友好都市との交流
 - 姉妹都市の姫路市、藤沢市、交流都市の金沢市、鹿児島市とのスポーツ市民交流を実施し
 - 松本市、姉妹交流都市合わせて323人が交流した
- 市民スポーツ活動への支援
 - 総合体育館内のトレーニング室を延べ33,757人が利用した
 - 全国大会出場祝金として各種競技会(ブロック大会以上)及び国体に出場する市民に対して祝金を交付した(延べ254人に交付)
 - スポーツ推進員協議会事業をサポートし、地域のスポーツ活動を支援した

< 現状に対する認識 >

市民体育大会・市長杯争奪球技大会の参加者数や全国大会出場祝金の利用者数はほぼ目標に達し、競技人口の広がり、レベルの向上は評価ができる。
 今後はスポーツの裾野を広げるために、各種教室の他、活動しているサークル、団体等を市民に紹介し気軽に参加できる環境をつくる。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	継続的にスポーツに親しんでいる市民の割合				
指標の設定理由	市民満足度調査 = 成果 20~29歳のアンケート結果				
目標値	50.2	52.6	55.1	57.5	60.0
実績値	45.1	35.0			
達成度	89.8%	66.5%			
成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	25,513		24,049							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	25,513		24,049							
人件費(千円)	15,380	人工	15,380	人工		人工		人工		人工
正規	15,380	2	15,380	2						
嘱託	0		0	0						
合計コスト +	40,893		39,429							
前年度比	-		96.4%							

事務事業評価票

事務事業名	スポーツ施設管理運営事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	スポーツ施設管理運営事業費

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	
主な取り組み		
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 事業の狙い >

事業計画年度

H25 ~ H31

市内76カ所のスポーツ施設について、直営・指定管理制度等により管理運営を行い、利用者が身近な場所で手軽にスポーツに親しめる環境を維持・整備するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

体育館25、運動広場21、庭球場8、プール6、野球場1、サッカー場2、その他13、計76カ所のスポーツ施設の利用受付・調整及び、施設を安全・快適に利用いただくために直営、業務委託、指定管理等により各施設の維持管理及び運営業務を行った。

- 1 体育施設予約等受付
市内大会等予約調整会議の後、前・後期に分けて市民等予約一斉受付を行うほか、施設の空き状況により随時利用受付し、延べ2,648,952人の利用があった。
- 2 施設の維持・管理(修繕・営繕工事)
給水管、消防設備、屋根等の改修工事28件
トイレ、ドア、スポーツ器具等の破損修理73件 を実施した。
- 3 施設の管理・清掃・保守点検等の委託
地区体育施設等について、清掃、鍵貸出し等の管理業務委託11件
清掃委託(清掃、除草他)22件
保守点検委託(電気工作物、消防設備他)29件 を実施した。
- 4 指定管理による施設管理
体育施設のうち、22施設を指定管理者制度の導入により管理・運営(7指定管理者に委託)

< 現状に対する認識 >

計76施設について、利用者が安全で安心して利用できる適切な管理が必要。
地区体育館は、築30年を目途に大規模改修を計画的に進めているが、各施設とも一定の年数が経過していることから、経常的な修理や、器具・備品等の修繕については緊急性・必要性に考慮しながら、スピード感のある対応が求められている。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	体育施設利用者総数(人)				
指標の設定理由	スポーツ推進計画の基本的数値目標				
目標値	2,900,000	2,900,000	2,900,000	2,900,000	
実績値	2,450,060	2,648,952			
達成度	84.5%	91.3%			
成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	464,309		480,221							
国・県	8,050		0							
利用者負担金	86,216		83,164							
その他	14,660		11,679							
一般財源	355,383		385,378							
人件費(千円)	46,548	人工	46,548	人工		人工		人工		人工
正規	32,298	4.2	32,298	4.2						
嘱託	14,250	5	14,250	5						
合計コスト +	510,857		526,769							
前年度比	-		103.1%							

事務事業評価票

事務事業名	学校体育施設開放事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	学校体育施設開放事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度	H22 ~ H33
--------	-----------

社会体育の振興と市民の健康増進を図るため、学校体育施設を社会体育に開放するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 学校教育に支障のない範囲で学校体育施設を計画的に社会体育に開放
 2 社会体育の実施に必要な器具、備品、消耗品等について整備を行い、施設の利用環境を整えるもの

- ・小中学校 42校
- ・延べ利用回数 19,390回

< 現状に対する認識 >

利用団体数、登録人数は概ね目標に近いが、登録団体は地区単位で活動するグループがほとんどのため、頭打ち感がある。
 今後はスポーツの裾野を広げるために、加入団体等を市民に紹介し気軽に参加できる環境をつくる。

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち		主な取り組み	市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
				松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
成果指標(指標名)	登録団体数					
指標の設定理由	スポーツをしている市民の割合の増加に係る指標であるため					
目標値	350	350	350	350	350	
実績値	339	349				
達成度	96.9%	99.7%				
成果指標(指標名)	登録人数					
指標の設定理由	スポーツをしている市民の割合の増加に係る指標であるため					
目標値	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	
実績値	7,683	7,616				
達成度	96.0%	95.2%				

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	8,030		7,113							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	8,030		7,113							
人件費(千円)	7,690	人工	7,690	人工		人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,690	1						
嘱託	0		0	0						
合計コスト +	15,720		14,803							
前年度比	-		94.2%							

事務事業評価票

事務事業名	市民生涯スポーツ振興事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	市民生涯スポーツ振興事業費

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
	松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度

H27～H32

熟年者健康スポーツ支援センター設置及び熟年体育大学を開校することにより、高齢者の体力低下の抑制や健康づくりを行うとともに、受講者同士の交流を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 熟年者健康スポーツ支援センター管理運営事業
支援センター利用者に、個人の目的に応じた健康・運動の情報や方法を提供し、体力保持・増進や生活の質を高め健康的な生活が送れるよう支援(器具を使った筋力トレ、体操などの指導)を実施
- 熟年体育大学総合体育館コース
運動・生活習慣を見直し、運動を継続することによる心身の健康・体力づくりを支援(入学資格 40歳以上 期間 2年間)
[1学年]
・29年度受講者 67名 年22回の講座を実施
[2学年]
・29年度受講者 87名 年14回の講座を実施
[講座概要]
松本大学、信州大学等の講師による健康講座やスポーツ実技、ウォーキング、体力測定、血液検査など

< 現状に対する認識 >

定員割れをきたしている現状から、広報活動の強化が必要

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	熟年体育大学総合体育館コース熟大生(定員120×2学年)				
指標の設定理由	募集定員に対する受講者数 = 成果				
目標値	240	240	240	240	240
実績値	197	154			
達成度	82.1%	64.2%			
成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	9,113		8,561							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	9,113		8,561							
人件費(千円)	16212	人工	16,600	人工		人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,690	1						
嘱託	0	0	0	0						
非常勤特別職	8,522	3	8,910	3						
合計コスト +	25,325		25,161							
前年度比	-		99.4%							

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

事務事業名	社会体育館大規模改修事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	社会体育館大規模改修事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	
主な取組み		
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 事業の狙い >

事業計画年度

H19 ~ H38

建築後一定の年数が経過した体育館の整備(大規模改修)及び、体育館利用者の安全確保を目的として、経年劣化により傷みが激しい床面等を改修するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 大規模改修 寿台体育館(昭和57年開場)について、老朽化部分の改修、耐震補強、アスベスト除去等を実施	主体工事 86,400千円 電気設備工事 11,016千円 機械設備工事 11,448千円 工事監理業務委託 4,320千円 駐車場改修工事 5,703千円	計 118,887千円
2 大規模改修実施設計 神林体育館 里山辺体育館	2,160千円 2,268千円	計 4,428千円
3 床面改修及び非構造部材耐震化事業 経年劣化のため、特に傷みの激しい床面及び建具等の改修工事を実施 中央・内田・島内・庄内は、非構造部材耐震化も併せて実施	本郷体育館(平成9年開場) 3,991千円 中央体育館(平成11年開場) 5,033千円 内田体育館(平成12年開場) 6,858千円 島内体育館(平成14年開場) 9,936千円 庄内体育館(平成18年開場) 14,450千円	計 40,268千円

< 現状に対する認識 >

建設から、一定の年数が経過し、劣化等による修理・改修が必要な状況となっているため、必要性・緊急性に配慮しつつ、スピード感を持って取り組む必要がある。
社会体育館整備改修計画を見直し、これまでの年1館の整備から年2館とするため
H29は実施設計の対応増。今後の体育館整備は、スピード感を持って対応

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	19,373		163,583							
国・県			14,853							
利用者負担金										
その他			111,182							
一般財源	19,373		37,548							
人件費(千円)	5,383	人工	5,383	人工		人工		人工		人工
正規	5,383	0.7	5,383	0.7						
嘱託	0	0	0	0						
合計コスト +	24,756		168,966							
前年度比	-		682.5%							

事務事業評価票

事務事業名	プール改修事業
-------	---------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	プール改修事業費

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	5 将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略	⑧成熟型社会の都市基盤づくり

<事業の狙い>

事業計画年度

H28~H32

幅広い年代の利用があるプールは、屋外、屋内とも、安全面・衛生面の確保が重要であることから、建物だけでなく、機械設備についても計画的に更新することで、利用者が安心・安全に利用できる環境を整備するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 松本市民プール・変形プール循環設備改修 49,756千円
松本市民プールの25mプールとスライダープールの循環設備(ろ過)について、更新を行った。

<現状に対する認識>

プールは高い安全性と衛生面の確保が求められるため、常に適正管理に努め、計画的な整備が必要。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	0		49,756							
国・県										
利用者負担金										
その他			49,756							
一般財源			0							
② 人件費(千円)	0	人工	1,538	人工		人工		人工		人工
正規	0	0	1,538	0.2						
嘱託	0	0	0	0						
合計コスト①+②	0		51,294							
前年度比	—		—							

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

事務事業名	サッカー場改修事業
-------	-----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興	5つの重点目標	5 将来世代のためのハード整備
			松本版総合戦略	成熟型社会の都市基盤づくり

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	サッカー場改修事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H25 ~ H33

松本市サッカー場は、日本サッカー協会の公認人工芝ピッチ(グラウンド)であり、公認の更新時期にあわせて人工芝ピッチの整備を行うもの。
公認試合の開催だけでなく、施設の安全性向上により、利用者が安心・安全に利用できる環境を整える。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

人工芝面改良工事 4,212千円
衝撃吸収性などの検査項目について、JFA公認基準に達するように改良するもの。

< 現状に対する認識 >

夜間利用が可能な人工芝のサッカー場は、松本市サッカー場とかりがねサッカー場の2ヶ所のみで、夜間、休日等の利用予約は90%超の状況。昼間も少年から社会人まで幅広く利用されている。
今年度の公認検査には合格。次回更新はH32を予定。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	0		4,212							
国・県										
利用者負担金										
その他	0		1,500							
一般財源			2,712							
人件費(千円)	0	人工	769	人工		人工		人工		人工
正規	0		769	0.1						
嘱託	0		0	0						
合計コスト +	0		4,981							
前年度比	-		-							

事務事業評価票

事務事業名	プロスポーツ振興事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	プロスポーツ振興事業費

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
主な取組み			松本山雅FCを活用した販わいの創出
5つの重点目標		3	経済の好循環の創出
松本版総合戦略			松本製品のブランド化

< 事業の狙い >

事業計画年度

H27～H33

松本山雅FCの集客力・求心力を活かし、「みるスポーツ」等による地域振興や中心市街地への誘客に繋げるなど、プロスポーツにより地域活性化の推進を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 松本山雅FC
 - パブリックビューイングの実施
中心市街地等でアウェーゲームのパブリックビューイングを5回実施(1,980人観戦)
 - 観光・グルメマップの作成・配布
13,000枚作成し、ホームゲーム19試合でアウェーサポーターへ配布
 - 臨時駐車場の設置
ホームゲーム21試合で新松本工業団地に500台分の臨時駐車場を開設(延べ7,144台利用)
 - ホームタウンデーの実施
ホームタウン4市1町1村合同により市の施策や観光・特産品をPR
 - 松本市・鹿児島市文化・観光交流都市デーの実施
鹿児島市と連携して市の施策や観光・特産品をPR
 - 地域交流活動促進事業の実施
松本山雅FCへ委託し、「子育てママさん向け運動教室」等を開催
- 信濃グランセローズ
 - 「松本市民の日」の開催
市の特産品PRや市内全小学校へ無料招待券を配布
 - 松本市野球場の優先使用
- 信州ブレイブウォリアーズ
 - 松本市総合体育館の優先使用

< 現状に対する認識 >

松本山雅FCにより地域住民の新たな繋がりが生まれ、地域経済にも大きな効果をもたらすなど、プロスポーツが地域活性化に大きく貢献していることから、継続して取り組む必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	松本山雅FCパブリックビューイング(人)				
指標の設定理由	観客数 = 関心度 = 成果				
目標値	1,734	1,734	1,907	2,097	2,306
実績値	1,734	1,980			
達成度	100.0%	114.2%			
成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	10,565		8,815							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	10,565		8,815							
人件費(千円)	7,690	人工	7,690	人工		人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,690	1						
嘱託	0		0	0						
合計コスト +	18,255		16,505							
前年度比	-		90.4%							

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

事務事業名	四賀運動広場整備改修事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	四賀運動広場整備改修事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	5 将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略	成熟型社会の都市基盤づくり

< 事業の狙い >

事業計画年度

H25 ~ H30

昭和51年の開場から40年が経過し、経年劣化等による老朽化や排水不良他の機能面など、利用に著しい影響が見られることから、計画的に施設改修を進めるもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 造成工事(~平成30年度)の継続
- 2 スタンド等改築主体工事(電気・機械設備含む)に着手 8カ月間の中断
- 3 グラウンド整備工事に着手 先送り

[事業費内訳]

調査委託料 16,900千円
 監理委託料 3,770千円 (次年度繰越額 4,270千円)
 造成工事 96,060千円
 主体工事 0千円 (次年度繰越額 126,360千円)
 電気工事 0千円 (次年度繰越額 5,930千円)
 機械設備工事 0千円 (次年度繰越額 2,250千円)
 計 116,730千円 (次年度繰越額 138,810千円)

< 現状に対する認識 >

H28着手した造成工事は継続中
 スタンド等改築主体工事は予定通り着手したが、現場での地盤調査において、地盤支持力が設計値を満たしていないことが判明したため、現在、工事を一時中止し対応策を検討しており、最低8カ月間の中断を余儀なくされた。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	134,079		116,718							
国・県										
利用者負担金										
その他	100,500		87,500							
一般財源	33,579		29,218							
人件費(千円)	3,845	人工	3,845	人工		人工		人工		人工
正規	3,845	1	3,845	1						
嘱託	0	0	0	0						
合計コスト +	137,924		120,563							
前年度比	-		87.4%							

事務事業評価票

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

事務事業名	庭球場改修事業
-------	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興	5つの重点目標	5 将来世代のためのハード整備
			松本版総合戦略	成熟型社会の都市基盤づくり

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	庭球場改修事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28 ~ H32

設置後10年が経過するテニスコートの人工芝を張り替えるもの。
また、クレーコートの人工芝生化も含め、テニス場の環境整備を行うもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 沢村軟式庭球場の人工芝生化 64,250千円
沢村軟式庭球場をクレーコートから人工芝コートに改修を行ったもの。

< 現状に対する認識 >

夜間照明設備を備えたコートで、全体的に人工芝の摩耗が激しくなっており、部分的な貼り替えでは対応が困難。
人工芝設置後10年経過時点を張り替えの目安としている。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	39,290		64,250							
国・県										
利用者負担金										
その他			64,250							
一般財源	39,290		0							
人件費(千円)	2,307	人工	2,307	人工		人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,307	0.3						
嘱託	0	0	0	0						
合計コスト +	41,597		66,557							
前年度比	-		160.0%							

事務事業評価票

事務事業名	負担金
-------	-----

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康とくすなづくり	
			松本版総合戦略

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28～H32

各種大会の開催により、他地域との交流を促進させ、交流人口の拡大等による地域の活性化を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

市民がスポーツに参加する機会やスポーツを通じた交流の機会の創出、市民スポーツ活動への支援を目的として以下の事業を実施

- 松本クロスカントリー大会
小学生から大人までが、距離、年齢、性別等により18種目に分かれて実施(877名参加)
- 市町村駅伝競走大会
長野県内の市町村による駅伝競走大会(64チーム 約750人参加)
- 鹿児島市・松本市スポーツ交流事業
「鹿児島市・松本市 文化・観光交流協定」に基づき、スポーツ交流を両市で毎年交互に実施(中学生男女ソフトテニス 59名参加)

< 現状に対する認識 >

スポーツ大会・イベント開催等を通じた交流人口の拡大により、スポーツによる地域の活性化が図られた。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	松本クロスカントリー大会参加者数				
指標の設定理由	参加者数 = 成果				
目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
実績値	899	877			
達成度	89.9%	87.7%			
成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	7,826		4,350							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,826		4,350							
人件費(千円)	7,690	人工	7,690	人工		人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,690	1						
嘱託	0		0	0						
合計コスト +	15,516		12,040							
前年度比	-		77.6%							

事務事業評価票

事務事業名	負担金(松本マラソン)
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み			「松本マラソン」の開催
5つの重点目標	1	健康とくすなづくり	
松本版総合戦略			

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28～H32

マラソンを通じた健康づくり、世代を超えた地域コミュニティの「きずな」の強化、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 第1回松本マラソン大会

- (1) 日時 平成29年10月1日(日) 8時30分スタート
- (2) 主催 松本マラソン実行委員会、長野陸上競技協会
- (3) 共催 松本市、信濃毎日新聞社
- (4) 出走 マラソン(42.195km) 8,611人
ファミリーラン(2km) 234組(504人)
- (5) コース スタート:松本市総合体育館前
フィニッシュ:スカイパーク陸上競技場

2 実施内容

- (1) 運営ボランティア参加(3,227人)・ボランティア説明会の開催
- (2) 協賛企業の募集(オフィシャルスポンサー21社)
- (3) 参加者募集
- (4) 医療救護計画の作製

< 現状に対する認識 >

第1回大会を無事に開催することができた。
第2回大会開催に向け、第1回大会での反省点を改善して、健康寿命の延伸と生きがいの仕組みづくりを進める本市ならではの、特色ある大会へと育てていく必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	松本マラソン参加応募者数(人)				
指標の設定理由	参加応募者数 = 成果				
目標値		10,000	10,000	10,000	10,000
実績値		10,058			
達成度		100.6%			
成果指標(指標名)	松本マラソンボランティア数(人)				
指標の設定理由	募集人数 = 成果				
目標値		3,000			
実績値		3,227			
達成度		107.6%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	22,490		91,870							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	22,490		91,870							
人件費(千円)	7,690	人工	10,540	人工		人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,690	1						
嘱託	0		2,850	1						
合計コスト +	30,180		102,410							
前年度比	-		339.3%							

事務事業評価票

事務事業名	補助金事業
-------	-------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

部局名	文化スポーツ部	課名	スポーツ推進課	課CD	18300000
-----	---------	----	---------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標	1	健康とくすなづくり	
			松本版総合戦略

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28 ~ H32

市民の多様なスポーツニーズを把握し、ライフステージに応じた生涯スポーツ等の推進を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

市民がスポーツに参加する機会やスポーツを通じた交流の機会の創出、市民スポーツ活動への支援を目的として以下の団体等に補助を実施

- 松本体育協会
競技スポーツと生涯スポーツの普及・振興を図る松本市の総合的な体育団体である一般財団法人松本体育協会へ補助
- スポーツ推進委員協議会
地域スポーツの推進等を図るスポーツ推進委員協議会へ補助
- 県下縦断駅伝大会
- スポーツ少年団
青少年の健全育成、指導者等の育成を図るスポーツ少年団へ補助
- スポーツ交流大会
競技団体が独自に実施している姉妹都市とのスポーツ交流大会へ補助(藤沢市:サッカー 75名参加)
- 全国大会、北信越大会
松本市で開催される大会へ補助(国際1件、全国3件、ブロック14件)
- ジュニアスキー育成
青少年の健全育成、競技スキー技術の向上を図るスキー団体へ補助

< 現状に対する認識 >

各種大会、イベントの開催により、スポーツ推進委員協議会では各年代に応じた生涯スポーツの推進、競技スポーツの推進が図られている。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	25,087		27,298							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	25,087		27,298							
人件費(千円)	7,690	人工	7,690	人工		人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,690	1						
嘱託	0		0	0						
合計コスト +	32,777		34,988							
前年度比	-		106.7%							